

目標達成計画

作成日: 2018年11月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域との交流があまりない。更に深める為にホームでサロンをしたり、近所の方がグランドゴルフの帰りに立ち寄られたら、地域との交流が更に増えると望まれる。	当初のホームの様に、地域との交流を深める。	入居者様と外出し、散歩や買い物等に出向き、ご近所様との挨拶や世間話など会話を交わされ、少しずつ交流を深めていく。近所の方を招待し、サロンを開く。	12ヶ月
2	35	昼間の火災を想定した避難訓練は行っているが、夜間想定の実施は実施していないので必要と思われる。	夜間想定の実施を実施する。	夜勤帯は一人勤務なので入居者様全員を避難誘導するのが難しい。訓練計画を立て、一人で避難誘導するのにかかる時間帯を把握する。	12ヶ月
3	36	入居者様の今のケアが十分に配慮されているかを振り返る機会として「プライバシーとは何か」についての勉強会を行う。	内部研修にて、今のケアについて振り返る。	まずは内部研修で勉強会を行う。また外部研修に積極的に参加し専門性を磨く。	12ヶ月
4	52	トイレの使用時や使用後は開放されたままになっている。入居者様のプライバシーの確保、来訪者の視点等も配慮した工夫が必要。	トイレ使用時はカーテンをするか扉を閉めるようにする。	入居者様のプライバシーや来訪者の視線等を考え、使用時はカーテンをして遮る。カーテンを使用しない場合は、扉を閉めてトイレとわかる様に張り紙をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。